



平成 22 年 2 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社グローバルダイニング  
代表者名 代表執行役社長 長谷川 耕造  
(コード番号 7625 東証第二部)  
問合せ先 執行役経営管理本部長  
兼財務経理グループリーダー  
添田 裕一郎 (TEL . 03 - 5469 - 3223)

### 特別損失の発生及び通期業績予想との差異について

平成 21 年 4 月 28 日に公表いたしました平成 21 年 12 月期連結業績予想において、下記のとおり差異が発生しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1 . 平成 21 年 12 月期連結業績予想数値との差異 (平成 21 年 1 月 1 日 ~ 平成 21 年 12 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当 期純利益又は 当期純損失
前 回 発 表 予 想 ( A )	15,712	343	455	287	29 円 90 銭
今 回 実 績 ( B )	15,097	107	194	508	52 円 98 銭
増 減 額 ( B - A )	614	235	260	795	
増 減 率 ( % )	3.9	68.7	57.3		
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 12 月期)	16,461	274	105	897	126 円 27 銭

(金額の単位：百万円)

## 2. 特別損失の計上について

「権八 ビバリーヒルズ」について、収益性の低下により投資額の回収可能性が低いと判断した結果、減損を認識し、減損損失として「権八 ビバリーヒルズ」を運営する当社の連結子会社であるグローバルダイニング、インク・オブ カリフォルニアにおいて5億28百万円を計上いたしました。

## 3. 通期連結業績予想との差異の理由

平成21年12月期連結業績につきましては、国内需要の自立的回復が脆弱な環境下、個人消費が低調に推移し、生活防衛意識の高まりから消費者の外出を控える傾向が依然として強く、売上高は前回発表予想を若干下回りました。

営業利益及び経常利益につきましては、当社の連結子会社であるグローバルダイニング マカオ リミテッドにおいて、6月に中華人民共和国マカオ行政特別区にオープンしました「フードコロシウム マカオ」の集客が当初計画を大幅に下回ったことなどから、前回発表予想を下回りました。

また、当期純利益につきましては、グローバルダイニング、インク・オブ カリフォルニアにおける上記特別損失の計上などにより、前回発表予想を下回り、当期純損失として5億8百万円を計上いたしました。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって、予想と異なる結果となる可能性があります。

以上